

修士論文執筆要領（人間科学分野）

1. 分量

論文の標準的な分量は、本文・注・文献リスト・図表を合計して、40,000 字～80,000 字程度（英語は 10,000 語程度）を目安とする（領域によっては、この分量よりも少ない場合、あるいは多い場合も可）。

2. 執筆言語

日本語、あるいは英語を原則とする。その他の言語で執筆する場合は、事前に指導教員に相談をする。指導教員は分野会議で、その言語による執筆が認められるかどうかについて相談する。

3. 要旨

日本語要旨（500 字程度）、英語要旨（300 語程度）を添付する。どちらの要旨にも、修士論文題目・専攻・分野・学籍番号・氏名・論文提出年月日を記入すること。なおその他の言語での要旨を、それに付加することができる。

4. 装丁

- 1) 用紙は白の A4 上質紙とする。
- 2) 生協製 A4 ファイル（ピンク色）、あるいはそれに準じたファイルに綴じる。
- 3) ファイルの表紙に、修士論文題目・専攻・分野・学籍番号・氏名・論文提出年月日、背表紙に修士論文題目・氏名を記す。

5. 書式

- 1) 横書きを原則とする（領域により縦書きも可。余白・文字数等は教員と相談すること）。
- 2) 用紙の片面にのみ印刷する。
- 3) ページの余白は、上 30mm、下 30mm、右 25mm、左 35mm とする。
- 4) 1 ページあたりの文字数は、40 字×30 行とする。
- 5) 本文活字は、和文は 10.5 ポイント明朝体、欧文は 10.5 ポイント Times New Roman を原則とする。

6. 構成

- 1) 表紙には、修士論文題目・専攻・分野・学籍番号・氏名・論文提出年月日を記入する。
(右図参照)

論文題目
博士前期課程 専攻・分野
学籍番号 氏名
2013 年 1 月日提出

- 2) 表紙の次に、目次をおく。目次は章節編成を原則とし、章・節ごとのページ数を記入する。

【例】

目 次	
はじめに	1
第1章開発と人類学	3
第1節開発論の系譜	3
第2節人類学における開発の位置づけ	5
第3節「開発人類学」から「開発の人類学」へ	7
(以下略)	

- 3) 目次のあと、改ページをし、本文を開始する。
- 4) 本文の最初のページを、1 ページとし、下段余白中央に順次ページを入れる。
- 5) 章が終わると、改ページをする。節が終わると、少なくとも1行あける。
- 6) 図・表には、それぞれに通し番号とタイトルをつける。それぞれの通し番号とタイトルは、図の場合は下に、表の場合は上につける。

7. 注と引用

- 1) 注は脚注形式とする。本文中の対応する箇所文字の肩に、論文全体を通しての通し番号を、1)、2)、3) …の形で入れる。
- 2) 引用文献は、次のいずれかの形式で本文中、あるいは脚注の中に示す。
(A) 本文中に示す場合
本文中での文献の引用は、(赤阪 1992) のように、引用箇所後のところで括弧に入れ、(著者刊行年) の順番で記入する。二つの文献を同時に記入する場合は、(Hosken 1978 ; 1982)、(赤阪 1992 ; 中野ほか 2001) のように、セミコロン ; で

区切って区別する。また文章を直接引用する際には、(赤阪 1992 : 31-32) のように、刊行年の次をコロン : で区切り、引用箇所のパージを記載する。

(B) 脚注の中に示す場合

引用文献の種類に応じて、適切な形で引用する。以下は、1) 和文単行本、2) 翻訳書、3) 雑誌掲載論文、4) 編著書中の論文、5) 欧文の雑誌掲載論文、6) 同じ文献を連続して引用した場合、7) 前出の論文を、一つ以上間隔をおいて引用した場合、8) 「同上書」の欧文表記、9) 「前掲書」の欧文表記、を示している。

- 1) 中谷猛・足立幸男編, 『概説西洋哲学史』, ミネルヴァ書房, 1994 年, 55 - 57 頁 (あるいは pp.55-57) .
- 2) Fisher, Helen E., 1980, *The Sex Contract: The Evolution of Human Behavior*, Chicago: University of Chicago Press. ヘレン・E・フィッシャー, 『結婚の起源: 女と男の関係の人類学』, 伊沢紘生ほか訳, どうぶつ社, 1985 年, 17 頁 (あるいは p.17 以下同) .
- 3) 梅津八三, 「社会学的行為論」, 『府大研究紀要』2 卷 1 号, 大阪府立大学人文科学研究会, 1976 年, 121 - 125 頁.
- 4) 山内友三郎, 「ヘアー功利主義と正義」, 『正義論の諸相』, 寺崎俊輔・塚崎智・塩出彰編, 法律文化社, 1989 年, 241 頁.
- 5) Antonio, H., *Crisis of Rain Forest and Impacts Shifting Cultivation in Western Yanomamo Societies*, *Human Ecology*, vol.5, 1998, pp.59-71.
- 6) 同上書, 242 頁.
- 7) 中谷・足立, 前掲書, 65 頁.
- 8) *ibid.*, p.73. ← 同上書
- 9) Fischer, H., *op.cit.*, p.20. ← 前掲書

8. 参考文献

1) 巻末には参考文献リストをつける。

2) 参考文献は、以下のような形式で記載する。

単行本 : 著者名 (姓名), 刊行年, 本の題目, (発行地 :) 発行所.

雑誌論文 : 著者名 (姓名), 刊行年, 論文題目, 掲載雑誌名, 巻 : ページ.

編著書中の論文 : 著者名 (姓名), 刊行年, 論文題目, 編者名, 本の表題, (発行地 :) 発行所, ページ.

【例】 1) 単行本、2) 雑誌掲載論文、3) 編著書中の論文、4) 欧文単行本、5) 欧文単行本（翻訳あり）、6) 欧文雑誌掲載論文、7) 欧文の編著書中の論文

- 1) 栗本英世(1999) 『未開の戦争，現代の戦争』岩波書店
- 2) 福井勝義(1988) 「家畜における毛色多様化選択の文化的装置－エチオピア西部の牧畜民ボディの民族遺伝観から」『在来家畜研究会報告』12：1-46.
- 3) 松田 凡(2002) 「ポストコロニアリズムからみたエチオピア西部の近代：周辺マイノリティと自動小銃」宮元正興・松田素二編『現代アフリカの社会変動：ことばと文化の動態観察』人文書院：93-114.
- 4) Almagor, U (1978) *Pastoral Partners: Affinity and Bond Partnership among the Dassanetch of South-west Ethiopia*. Manchester: Manchester University Press.
- 5) Anderson, B. (1991) *Imagined Communities: Reflections on the Origin and Spread of Nationalism*(Revised Edition). London; New York: Verso. 『増補想像の共同体 ナショナリズムの起源と流行』白石さや・白石隆訳 NTT 出版
- 6) Abir, M. (1968) Caravan Trade and History in the Northern Parts of East Africa. *Paideuma*: 103-120.
- 7) Abir, M. (1970) Southern Ethiopia. In *Pre-Colonial African Trade: Essays on Trade in Central and Eastern Africa before 1900*. Gray and Birmingham (eds.) 119-137. London: Oxford University Press.

3) 和文論文と欧文論文を区別して記載する場合は、和文論文は著者名のアイウエオ順で、欧文論文は著者名のアルファベット順で記載する。和文論文と欧文論文を一括して記載する場合は、著者名のアルファベット順で統一する。なお同一著者の論文が複数ある場合は、刊行年順にならべる。同一著者の同じ刊行年の論文が複数ある場合は、題目のアルファベット順でなれば、刊行年の横に a、b、c・・・とアルファベットをふって、区別する。

9. その他

以上は一般的な注意事項だが、論文の標準的な枚数・書式・引用形式等は分野によって異なる。事前に指導教員と十分に相談すること。